
諸塚村教育施設等長寿命化計画

【概要版】

令和3年3月

諸塚村 教育委員会

1. 計画の概要

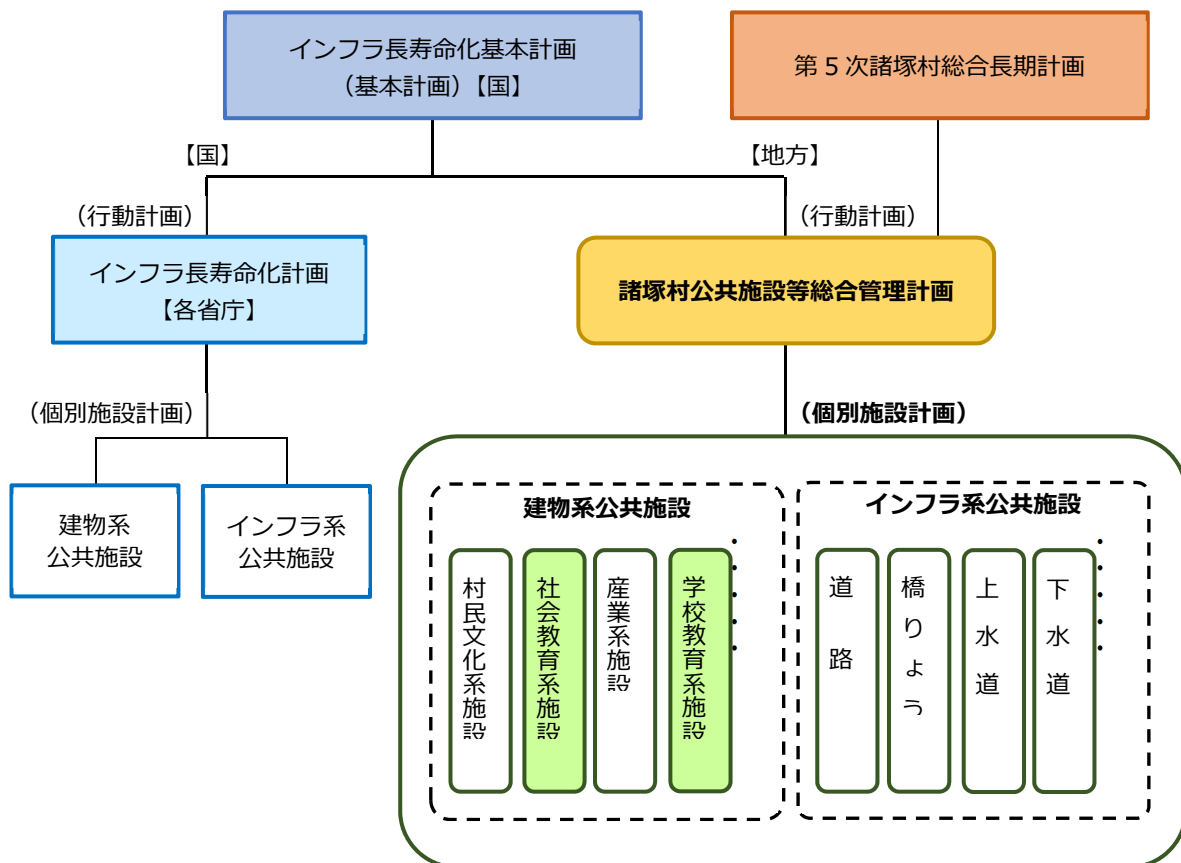
(1) 計画の目的

本計画は、「諸塚村公共施設等総合管理計画」で定めた基本方針に基づき、教育施設の今後について、計画的かつ全庁的なマネジメントに取り組むために、学校教育・社会教育・社会体育施設の現状と課題を整理し、今後の方向性等を検討して、各施設の具体的な対応方針を定める計画として策定するものです。

公共施設等の全体の状況を早急に把握し、長期的な視野に立って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置や有効活用することを目指します。

(2) 計画の位置付け

本計画は、諸塚村公共施設等総合管理計画の下位計画として、国のインフラ長寿命化基本計画の体系における「個別施設計画」として位置づけます。

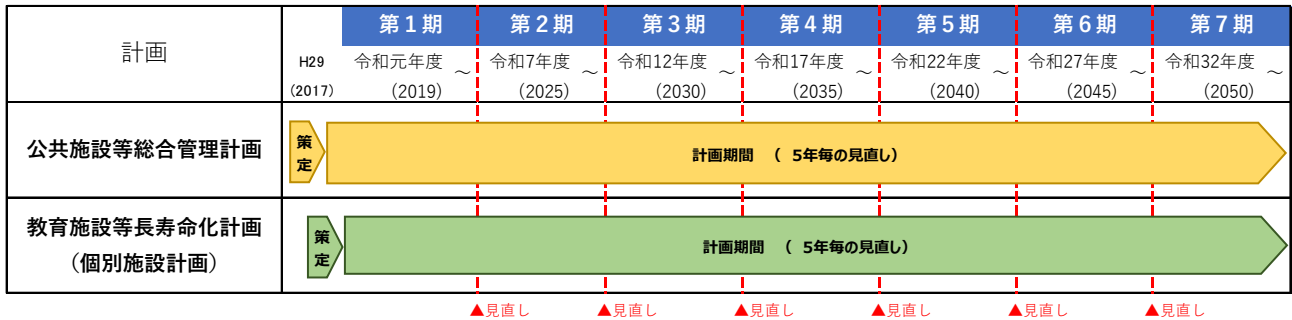


(3) 計画期間

本計画の計画期間は、公共施設等総合管理計画の計画期間との整合性の観点から、令和元年度（2019 年度）から令和 38 年度（2056 年度）までの 38 年間とし、公共施設等総合管理計画に合わせて 5 年を 1 期として計画の評価・見直しを行います。ただし、本計画の第 1 期は、公共施設等総合管理計画の第 2 期と終期を合わせて令和 7 年度（2025 年度）までの 7 年間とします。

また、本計画は、公共施設等総合管理計画及び各課の個別計画や事業計画との整合を図るとともに、制度改正や財政状況・地域環境の変化等、計画の前提条件に変更が生じた場合には、必要に応じて適宜見直しを行います。

なお、対策費用の試算期間は、長期的な行財政運営の参考とするため 40 年とします。



(4) 対象施設

本計画の対象施設は、教育委員会が所管する学校教育施設 5 施設、社会教育施設 4 施設、社会体育施設 2 施設、教職員住宅の合計 12 施設と夜間照明灯 20 基とします。

施設分類	施設名	建物数
学校教育施設	諸塚幼稚園	2 棟
	諸塚小学校	2 棟
	荒谷小学校	3 棟
	七ツ山小学校	4 棟
	諸塚中学校	4 棟
社会教育施設	民俗資料館	1 棟
	中央公民館	1 棟
	木工棟	1 棟
	立岩地区社会教育施設	2 棟
社会体育施設	総合運動公園	2 棟
	宮の元体育館	1 棟
	夜間照明灯	20 基
教職員住宅	教職員住宅（23 戸）	15 棟

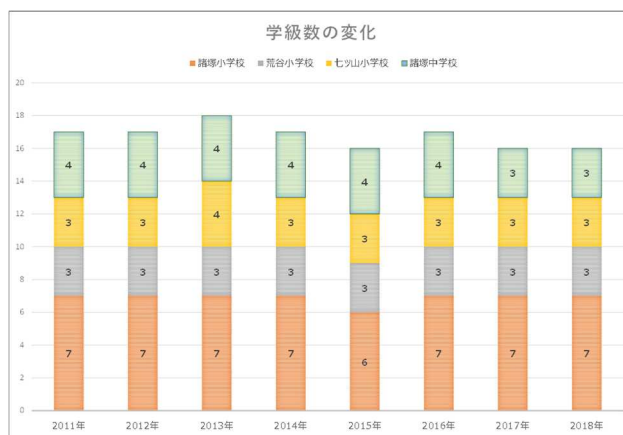
2. 施設の実態

2-1 施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 学校教育施設

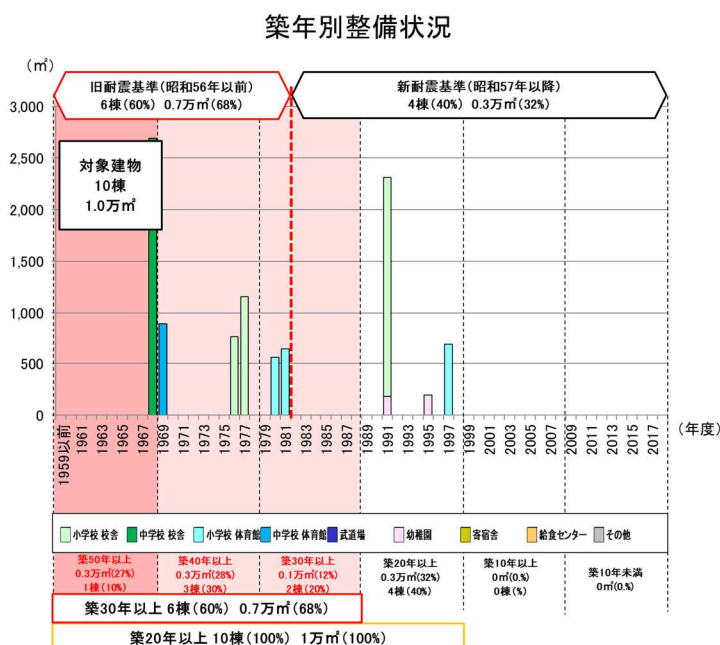
① 児童生徒数・学級数の推移

生徒数は、全体的に村の人口減少に比例する形で緩やかに減少傾向にあります。村内の小学校はすべて複式学級制となっています。



② 築年別整備状況

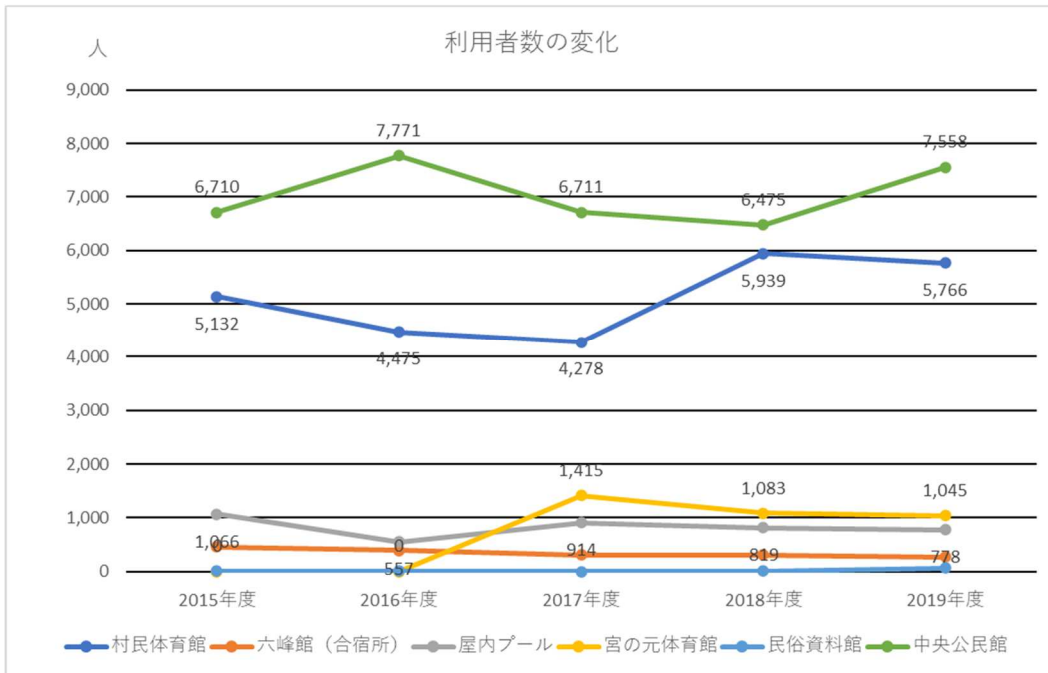
施設の約半数近くが旧耐震基準で建設されているうえ、築30年以上経過した建物が60%となっています。耐震改修を実施し、一度は長寿命化が図られてはいるものの、中には築50年以上経過している施設も存在していることから、早い時期に改築及び大規模修繕の必要性が高いと見られます。



(2) 社会教育施設

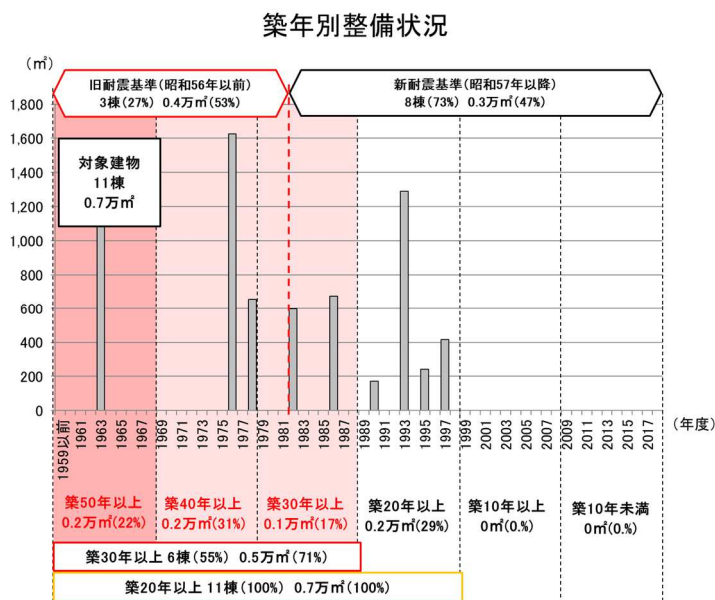
① 施設利用者数の推移

利用者数の推移は、過去5年間の統計データを基に集計しております。いずれも統計調査を開始してからの数値であり、施設により利用者数の取得が限定されています。



② 築年別整備状況

施設のおおよそ半数が築30年以上経過している上、築20年以上となると全ての施設が対象となっています。従って、どの施設においても改築もしくは大規模修繕の対象となってくることから、優先順位を決めて、順に施設の改修を行っていく必要があるということになります。



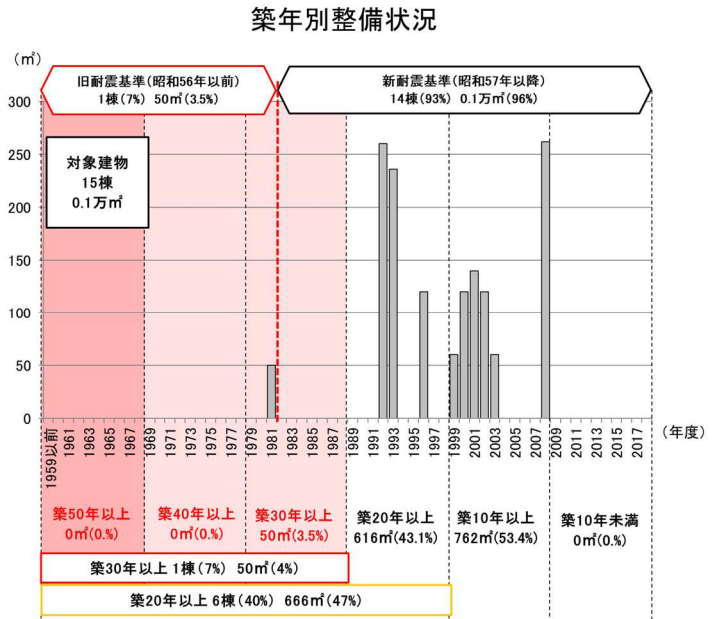
(3) 教職員住宅

① 施設利用者数の推移

教職員住宅の利用状況は、へき地ということもあり常に満室であり、部屋数が常に不足している状況が続いています。

② 築年別整備状況

旧耐震基準の施設が1棟、築20年以上の施設が6棟(40%)となっており、比較的新しい建物が多い状況ですが、全てが木造のため、耐用年数も40年程度となることから、今後、順次大規模修繕の必要が生じてくることが予想されます。



2-2 老朽化状況実態調査結果

本計画の対象施設について、現地劣化現況調査着手前に各施設の資料収集と机上調査を行い、事前に施設概要を整理し、把握した上で現地での劣化状況調査(目視調査)を実施しました。

各施設の老朽化状況は右の表の通りです。

施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (m²)	建築年度	築年数	2018年基準				劣化状況評価							
							耐震安全性			調査年度	圧縮強度 (N/mm²)	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
							基準	診断	補強									
立岩地区社会教育施設	校舎	RC	2	657	1978	40	旧	-	-	-	-	解体	D	C	D	C	C	26
総合運動公園	屋内プール	S	1	1,290	1993	25	新	-	-	-	-	長寿命	D	C	D	B	D	27
諸塚小学校	屋内運動場	S	1	643	1981	37	旧	済	-	-	-	長寿命	D	D	C	B	C	34
荒谷小学校	校舎	RC	2	761	1976	42	旧	済	-	H15	20.8	長寿命	D	C	C	C	D	34
七ツ山小学校	校舎	RC	3	1,158	1977	41	旧	済	-	H25	22.5	長寿命	D	C	C	C	D	34
立岩地区社会教育施設	屋内運動場	S	2	596	1982	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	C	B	C	36
総合運動公園	村民体育館	S	2	1,626	1976	42	旧	-	-	-	-	改築	C	C	C	C	D	36
教職員住宅	教員住宅 No.60	W	1	50	1981	37	旧	済	-	-	-	解体	C	C	D	B	B	38
中央公民館	中央公民館	RC	2	1,591	1963	55	旧	済	-	H15	14.9	改築	D	C	C	B	C	42
諸塚中学校	屋内運動場	S	1	896	1969	49	旧	済	-	H20	-	長寿命	C	C	C	C	B	44
荒谷小学校	屋内運動場	S	1	562	1980	38	旧	済	-	H15	-	長寿命	B	C	C	B	C	48
諸塚幼稚園	校舎1	W	1	180	1991	27	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	C	B	B	52
総合運動公園	メインスタンド	RC	2	203	1995	23	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	D	B	B	53
諸塚小学校	校舎	RC	2	2,133	1991	27	新	-	-	-	-	長寿命	D	C	B	B	C	55
総合運動公園	六峰館(合宿所)	W	1	415	1997	21	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	C	C	C	56
諸塚幼稚園	校舎2	W	1	195	1995	23	新	-	-	-	-	長寿命	D	B	C	B	B	56
諸塚中学校	校舎	RC	3	2,691	1968	50	旧	済	済	H25	22.5	長寿命	C	A	C	B	C	62
木工棟	木工棟	W	1	90	1986	32	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	B	B	62
宮の元体育館	宮の元体育館	S	2	584	1986	32	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	C	68
総合運動公園	便所棟	RC	1	40	1995	23	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	D	68
七ツ山小学校	屋内運動場	S	2	688	1997	21	新	-	-	-	-	長寿命	D	B	B	B	B	70
教職員住宅	教員住宅 No.85・86	W	2	130	1992	26	新	-	-	-	-	長寿命	D	B	B	B	B	70
民俗資料館	民俗資料館	RC	2	170	1990	28	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	B	B	70
教職員住宅	教員住宅 No.97	W	1	60	1996	22	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
教職員住宅	教員住宅 No.96	W	1	60	1996	22	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
教職員住宅	教員住宅 No.105	W	1	60	2002	16	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	81
教職員住宅	教員住宅 No.106	W	1	60	2002	16	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	81
教職員住宅	教員住宅 No.100	W	1	60	1999	19	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	81
教職員住宅	教員住宅 No.103	W	2	80	2001	17	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	A	A	84
教職員住宅	教員住宅 No.108-111	W	2	262	2008	10	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	A	A	91
教職員住宅	教員住宅 No.101	W	1	60	2000	18	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
教職員住宅	教員住宅 No.102	W	1	60	2000	18	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
教職員住宅	教員住宅 No.104	W	1	60	2001	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
教職員住宅	教員住宅 No.83・84	W	2	130	1992	26	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	A	B	B	92
教職員住宅	教員住宅 No.88-91	RC	3	236	1993	25	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	B	B	94
教職員住宅	教員住宅 No.107	W	1	60	2003	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100

3. 施設整備の基本的な方針

「諸塚村公共施設等総合管理計画」（平成 29 年 3 月策定）における「第 4 章 公共施設等の管理に関する基本方針」及び「第 5 章 施設類型ごとの管理に関する基本方針」を踏まえ、学校施設等施設整備の基本的な方針を定めます。

① **点検・診断等の実施**

- ・施設管理者により今後も継続して定期点検を実施し、劣化状況・健全度および緊急度を把握する。

② **維持管理・修繕・更新等の実施**

- ・定期点検により把握した劣化状況、健全度および緊急度を基に、適切な修繕、更新等を実施する。

③ **安全確保の実施**

- ・点検結果により劣化状況、健全度および緊急度を把握し、適切な時期に修繕を行っていき安全確保を図る。

④ **耐震化の実施**

- ・耐震化が完了していない施設は、必要に応じて耐震化を図る。

⑤ **長寿命化の実施**

- ・耐震化が完了している施設はあるものの、修繕が必要な箇所はあり、劣化状況・健全度および緊急度により優先順位を設け適切に修繕を行い長寿命化に努める。

⑥ **統合や廃止の推進**

- ・今後 15 年～20 年後に村内の学校の統廃合を含めた大規模改修工事又は学校の設置を行うこととする。

⑦ **情報管理・共有の実施**

- ・点検により把握した劣化状況、健全度および緊急度を管理者と担当部署が共有し、中長期的な修繕計画の策定を行う。

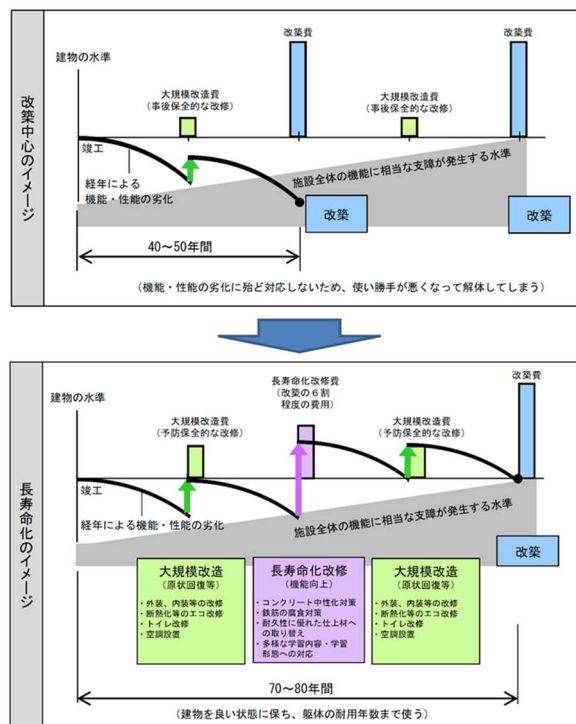
⑧ **計画推進体制の構築**

- ・管理者、担当部署で情報共有を図り、効率的に計画を推進する。

4. 長寿命化の方針とコスト

(1) 施設経費コストの見通し

建築物の耐用年数には、物理的耐用年数・経済的耐用年数・法定耐用年数・機能的耐用年数など、様々な考え方があります。一般的に耐用年数は、「物理的耐用年数> 経済的耐用年数> 法定耐用年数> 機能的耐用年数」となりますが、これまでの施設の寿命は、最短の機能的耐用年数に近かったのが現状です。しかし、今後、すべての公共施設等を機能的耐用年数を基準に建替えることは財政制約上困難であり、計画的に保全整備を行うことにより施設を長寿命化して供用期間を延ばし、最長の物理的耐用年数に出来る限り近づけることで、ライフサイクルコストを低減することを目指します。



(2) 施設経費コストの見通し

最後に、教育施設全体の長寿命化による維持・更新コストの見通しと効果を従来型のものと比較しました。下表の通り、学校教育施設で計画期間におけるコスト総額は、従来型のコストが総額 41 億円（年平均 1.0 億円）だったものに対して、長寿命化型では総額 36 億円（年平均 0.9 億円）で 5 億円の削減に、社会教育・体育施設では総額 36 億円（年平均 0.9 億円）であったものが総額 31 億円（年平均 0.7 億円）で 5 億円の削減、教職員住宅では総額 5 億円の増減が見られなかったものの、40 年間で総額 10 億円の経費節減が見込める試算となりました。

これはあくまで、現施設を全て現状のまま維持した場合のコストであり、統廃合や集約化により施設数が減少すれば、更にこの費用は減少することとなり、長寿命化計画の効果は絶大であるといえるでしょう。

もう一方で、コストの平準化については、これまでに必要とされていた改築や大規模修繕が実施されていなかったことから、優先順位を決めた上でバランスよく実施することで、期待以上の効果を生み出すことが予想されます。

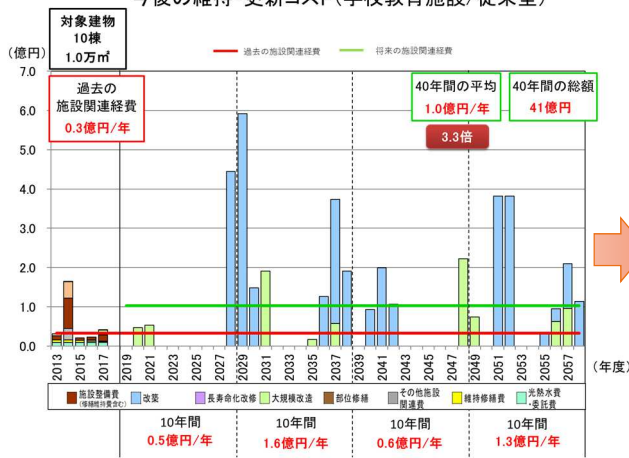
【差額】

	学校教育施設	社会教育・体育施設	教職員住宅
従来型	41 億円 (1.0 億)	36 億円 (0.9 億)	5 億円 (0.1 億)
長寿命化型	36 億円 (0.9 億)	31 億円 (0.8 億)	5 億円 (0.1 億)
差額	▲5 億円 (▲0.1 億)	▲5 億円 (▲0.1 億)	±0

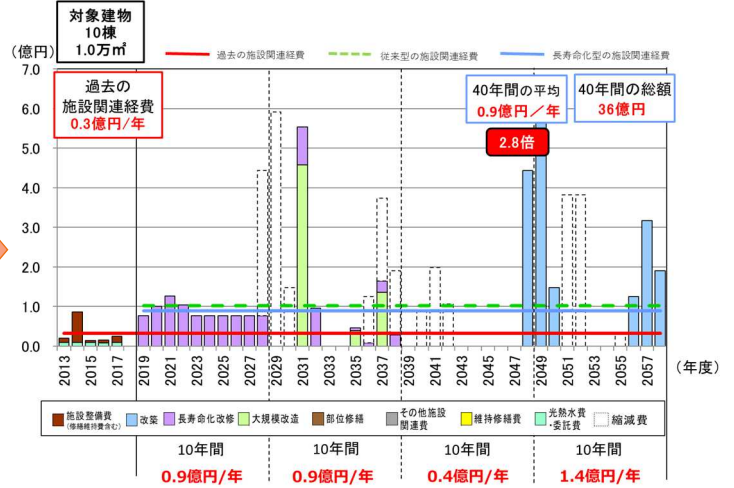
(年平均)

【学校教育施設】

今後の維持・更新コスト(学校教育施設/従来型)

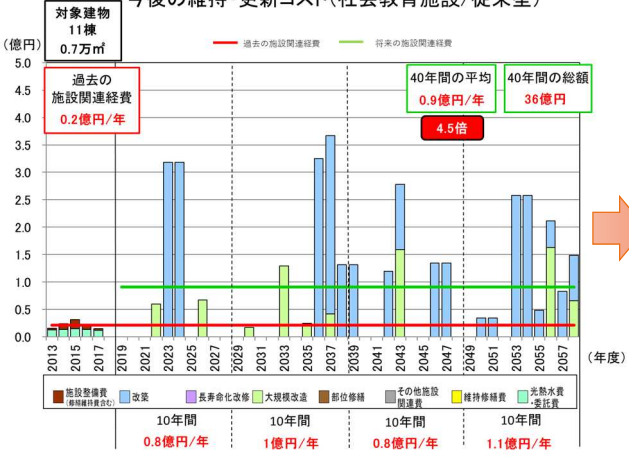


今後の維持・更新コスト(学校教育施設/長寿命化型)

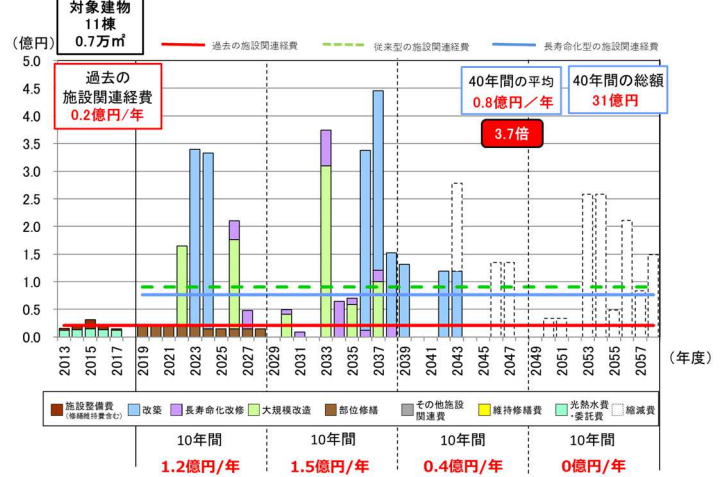


【社会教育施設】

今後の維持・更新コスト(社会教育施設/従来型)

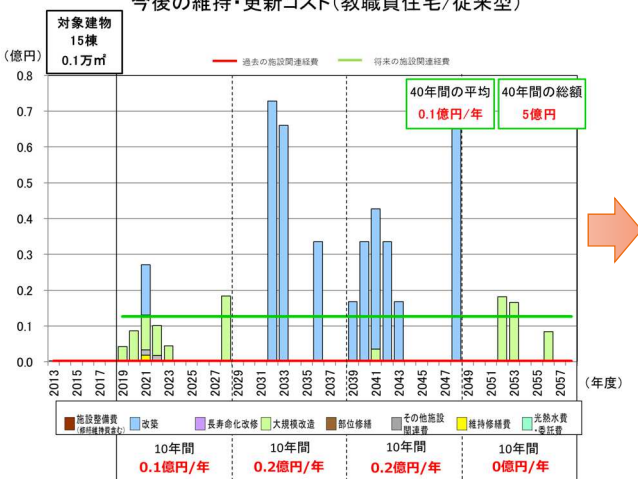


今後の維持・更新コスト(社会教育施設/長寿命化型)

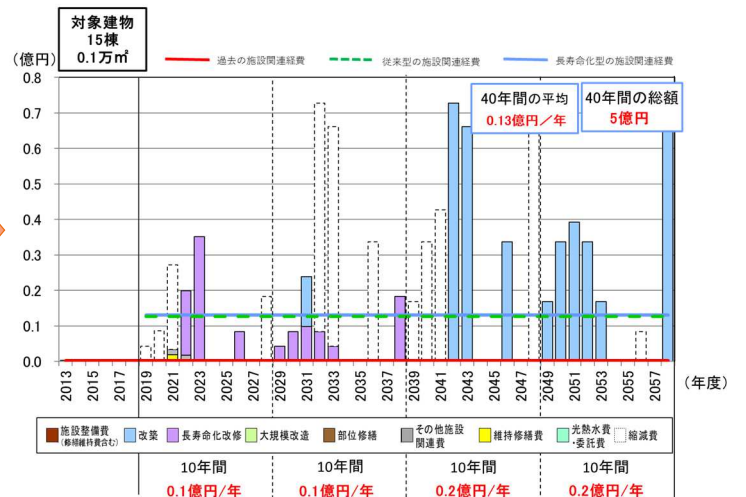


【教職員住宅】

今後の維持・更新コスト(教職員住宅/従来型)



今後の維持・更新コスト(教職員住宅/長寿命化型)



5. 実施計画

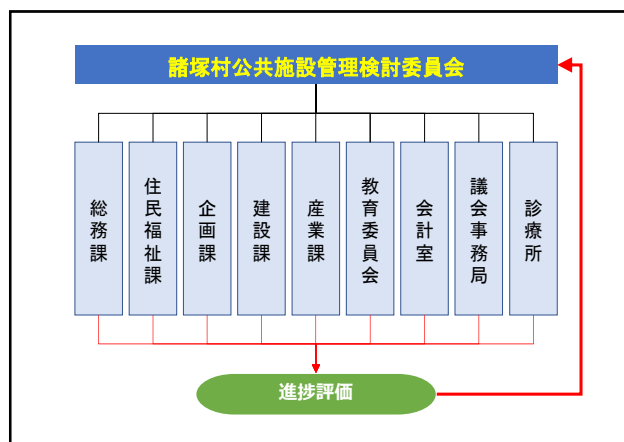
施設の長寿命化においては、老朽化実態調査から得られた健全度を基に経過年数や屋上・屋根及び外壁の評価を考慮し、大規模改造と長寿命化改修を基本として実施計画検討に取り組むものとします。整備基準としては、長寿命化改修は構造躯体の健全性が確保される施設とし、中でも緊急性の高い建物を優先的に整備していくこととします。長寿命化改修にあたっては、必要に応じ構造躯体の健全性調査を行うものとします。ただし、建物の劣化状況や財政計画の状況によっては、改築が効果的な建物が生じる場合もあり、施設の整備事業計画を前提にしつつ、個別に検討・対応を行っていきます。また、部位修繕については緊急性を要する施設を優先的に整備していくこととします。

6. 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 推進体制の整備

総務課による公共施設の総合的な管理基準・方針を踏まえながら、所管である教育委員会が中心となって、本計画に基づき施設マネジメントを行っていくこととします。

本計画策定の結果、公共施設等総合管理計画で示された公共施設等マネジメント推進体制の下で、関係部署との情報共有を図ることで、必要な予算の確保や修繕の実施時期の調整が可能となることが明確となりました。今後は、学校・社会教育体育施設だけでなく、全ての公共施設マネジメントにおいて、全庁的に各所管課が連携し、合意形成を図りつつ施設管理を推進していきます。



(2) フォローアップ

本計画を確実に実行していくには、適切な進捗管理が必要となります。

このため、本計画（Plan）に基づいた施設の維持修繕の実施（Do）、実施した結果の評価（Check）、評価結果に基づく計画の見直し（Action）を常に体動させるPDCAサイクルを構築することで、本計画を実行していきます。

計画の見直しについては、上位計画となる「総合計画」や「公共施設等総合管理計画」の見直し結果を反映していく必要があることから、5年ごとに計画の見直しを行います。



諸塚村教育施設等長寿命化計画【概要版】

令和3年3月

諸塚村教育委員会

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 2683 番地

TEL : TEL (0982) 65-0072/FAX(0982)65-0661